

飛鳥資料館 春期特別展「星々と日月の考古学」

飛鳥資料館では2011年4月16日（土）から5月29日（日）までの間、春期特別展「星々と日月の考古学」を開催いたします。

本展では、古代の人々が見た夜空にきらめく星々や日月にスポットを当てました。星々に関わる出土品や史料の少なさから、これまでは古代の天文に関することはあまりわかっていませんでした。そこで、国内外の遺物やレプリカ、近年発展の目ざましい衛星考古学も合わせて、古代日本人の天文の知識や観念を探ってみました。その中でも、昨年に取り外したキトラ古墳壁画の天文図、高松塚古墳壁画の天文図は重要な手掛かりです。はたして、古代の星々や日月は、私たちに何を語りかけてくれるのでしょうか？

（飛鳥資料館 成田 聖）

特別展開催中は無休

〈問合せ先〉 ☎ 0744-54-3561



編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2011年3月